

黒松内町も雪解けが進み、春のやわらかな日差しが増えてまいりました。ご家族の皆様ならびに関係機関の皆様におかれましては、平素より当施設運営に對しまして、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は感染症の様々な制限も緩和されたなかで、利用者の皆さんの活動の幅も少しずつ広げ、スポーツ大会への参加や様々な余暇活動、行事なども再開してしました。そのようなかで高校生の利用者様がフライングディスク競技で北海道代表に選出され、今年10月に滋賀県で開催される全国障害者スポーツ大会に出場することとなる等の明るい話題もありました。今後とも利用者の皆さんの意向を聞きながら行事や余暇活動を充実させ、日々の生活に変化を与え、潤いのあるものとしていきたいと考えております。

また、3月には4名が当施設を退所し、それぞれが期待と不安の入り混じるなか、大人としての生活をスタートさせました。4名の皆さんが新天地でより一層、ご活躍することを願うとともに、在籍している皆さんが学校や地域の中でたくさんさんのことを経験し、しりべし学園で生活していく中で持つに努める力を存分に発揮し、成長していくことができるよう利用者支援の充実障がい児・者福祉に目を向けるとその取り巻く環境は厳しさを増し、物価の高騰、人材難などの課題も山積です。そのようななか、関係機関との連携をより一層強化するとともに、職員同士もお互いを理解し、認め合い、活かし合うことを心がけ、専門性を高める努力をし、チーム一丸となり充実した利用者支援に努めてまいります。

結びになります。今後とも皆様の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。年度のご挨拶とさせていただきます。

セオス … 藪 龍 成 ・ 市 村 香 茄

当事業所では、職員を募集しております。ご興味のある方は、裏面の連絡先まで、ご連絡ください。



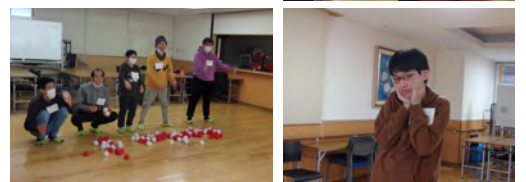
フォトコーナー 入学式

4月8日に、余市養護学校しりべし学園分校にて入学式が行われました。今年は、中学部に3名、高等部に1名入学しています。つい3月までそれぞれ小学部・中学部に在籍していたはずが、姿いも新たに成長した姿を見せてくれています。そのまま真っすぐつくしのようには育っていくのが楽しみです。

雪遊び (児童棟)



希望の会 交流会 (成人寮)



2025年度 予算・事業計画

福祉型障がい児入所施設 しりべし学園

単位:千円

科 目	予算額
児童福祉事業収入	116,791
障害福祉サービス等事業収入	56,492
その他の事業収入	770
借入金利息補助金収入	0
経常経費寄付金収入	64
受取利息配当金収入	40
その他の収入	636
施設整備等収入	0
積立資産取崩収入	636
拠点区分間繰入金収入	
収入合計(1)	177,293

科 目	予算額
人件費	87,637
事業費	41,117
事務費	20,253
支払利息支出	0
その他の支出	110
施設整備等支出	1,000
積立資産支出	1,116
拠点区分間繰入金支出	2,000
支出合計(2)	159,233

障害児入所施設の担うべき機能には「発達支援機能」「自立支援機能」「社会的養護機能」「地域支援機能」があることをふまえ、また、利用する子ども達の発達における個人差が大きいことにも留意し、個々の発達段階や特性を理解し、それに応じた支援を提供できるよう、職員の専門性を高め支援の充実に努める。また、特に行動特性の強い利用者については、行動上の様々な課題が現れたり、行動する際に危険が生じたりする場合もある。このような特別に配慮された支援が必要になっている利用者の支援においては、「困った子」ではなく「困っている子」として受け止め、そのうえで環境を整え不安の解消と安定を図り、専門的支援の提供に努める。また、利用者個々に合った進路を見出すことができるよう、学校や児童相談所など関係機関との連携をより一層強化する。さらに、引き続き感染症対策を徹底し、安心で安全な生活支援を実践するとともに、利用者の声に耳を傾けニーズを把握し、行事や余暇活動の充実に努める。人材確保については法人人事部とも連携し、実習生やインターンシップなどを積極的に受け入れるとともに、良いチームワークの中で職員の定着、育成に努める。

児童ディ・サービス事業 南後志児童ディ・サービスセンター

子どもの発達の過程やそれぞれの特性などに応じた発達上のニーズを丁寧に把握し、理解したうえで支援を提供することを基本とする。そのために、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域を踏まえたアセスメントを行い、関係機関や保護者と情報を共有し、個々の子どもに応じた遊びなどの活動の中でより充実した療育を行っていく。また、新しいスタッフ体制のもと、保護者との良好な関係を構築できるよう職員間の連携を密にし、相談しやすい体制を整えていく。療育環境の整備に向けては引き続き、黒松内町と法人本部の検討が進むまで、既存の設備を可能な範囲で整備しながら安全に留意し活動していく。さらに、他部門との連携を強化し、利用者支援の充実に努める。

しりべしワークセンターセオス営業種目

クリーニング課	クリーニング全般
園芸課	花苗・野菜苗・椎茸・しめ縄・和紙・ポストカード 切り絵・消しゴムハンコ
印刷課	名刺・封筒・用紙類・伝票・製本・挨拶状・大判フ リント・パンフレット・各種案内状・年賀状 など

セオスではお客様のご利用をお待ちしております。お気軽にご相談ください。

編集：(社福)黒松内つくし園 / しりべし学園・しりべし学園成人寮広報委員会
TEL.0136-72-3173 (児童棟)・0136-77-2950 (成人寮)・FAX.0136-72-3952
北海道寿都郡黒松内町字黒松内565番地2 ホームページ <https://tsukushien.or.jp/>

構成・印刷：(社福)黒松内つくし園 / しりべしワークセンターセオス 印刷課
TEL・FAX.0136-72-3820(印刷課) ※広報誌の構成・印刷・梱包を承ります！

障がい者支援施設 しりべし学園成人寮

単位:千円

科 目	予算額
就労支援事業収入	17,300
障がい福祉サービス事業収入	331,117
経常経費寄附金収入	440
受取利息配当金収入	716
その他の収入	2,474
施設整備等補助金収入	
積立資産取崩収入	1,000
拠点区分間繰入金収入	
収入合計(1)	376,474

科 目	予算額
人件費	174,350
事業費	83,992
事務費	46,778
就労支援事業支出	16,530
支払利息支出	
その他の支出	1,180
設備資金借入金元金償還支出	670
固定資産取得支出	
ファイナンスリース債務返済	1,973
積立資産支出	4,180
拠点区分間繰入金支出	12,644
その他の活動による支出	
支出合計(2)	342,297

2025年度は施設入所57名、生活介護52名(通所3名含む)でのスタートとなる。昨年度の虐待事案に対する勧告・文書指摘等を受け、利用者の意思決定の支援・権利擁護の遵守など、虐待の根絶に重点を置き、セオス、いずみ、学園と協力しながら、改善計画を確実に実行し、研修や巡回を行い不適切な支援・虐待「0」に向けて一層力を入れて取り組む。地域移行について、地域生活への希望把握等を行い、実現に向けて関係機関等との調整を行っていく。高齢化に伴う障がいの重度化は著しく、健康管理、健診の重要性に鑑み、障害のある方々への健診体制の拡充と職員の介護技術の習得を目指していく。また、歯科医及び歯科衛生士と連携して、利用者の適切な口腔ケアに努める。人材確保については、日本人職員の確保を基調に外国人の入れ替わりを視野に入れ、切れ目のない受け入れを行い、利用者支援に支障のないように手配したい。日中活動の更なる充実を目指し、利用者さんに喜んでもらえる活動に取り組んでいく。ノロウィルス・コロナ感染予防として基本的な感染対策を実施するとともに、生活空間の衛生環境にも配慮し持続可能な事業所運営を行っていく。

就労継続支援B型事業 しりべしワークセンターセオス

高齢化、重度化による高齢者施設への移行等により、2025年度は25名でのスタートとなる。利用者の高齢化により、作業効率の低下が見られるため、作業内容の細分化、分業化を進め、利用者の状況に応じた作業の提供を図り、利用者の体力、モチベーションの維持に努め、商品の質の向上や製品のPR等から新規顧客の開拓に繋げ、工賃の向上につなげたい。今年度はクリーニング事業で法人内向けの寝具類リース事業を立ち上げ、自然の家休止に対応することとしている。利用者確保について、若い世代の新規利用のため、関係機関や養護学校等と情報を共有していく。町民から好評を得ている花の無料配布はふれあい祭りを考えているが、コロナの状況により流動的に対応する。花の無料配布のほか、地域貢献3事業については継続して実施していく。コロナ感染予防として基本的な感染対策を実施し、持続可能な事業所運営を行っていく。

共同生活援助 いずみホーム

高齢者施設移行に伴い、2025年度は19名でのスタートとなる。成人寮入所支援からの移行は数年来ない状態であり、外部からの入所も見込めていない。利用者の高齢化が著しく、健康管理の重要性が高まっている中、高齢利用者が暮らしやすい環境整備を進めていく。また、他の福祉サービスの利用等、利用者の意向に沿った次のステップや今後のグループホームの在り方等、継続的に協議していく。自治会活動についても、体力や能力に応じた活動を行っていく。地域貢献1事業については継続して実施していく。コロナ感染予防として基本的な感染対策を実施し、持続可能な事業所運営を行っていく。

特定相談支援事業 黒松内つくし園特定相談支援事業所

基本的にしりべし学園成人寮及び後志リハビリセンター利用者の計画相談を実施していく。年2回のモニタリングを確実に実施し、利用者の意向を反映したサービス等利用計画書作成に努める。